



令和2年度
みやの環境創造提案・実践事業
活動内容

みやの環境創造提案・実践事業とは

- ▶ 宇都宮市では、持続可能な環境都市の実現に向けた取組を支援するため、環境創造基金を設置し、市民の皆さんからの寄付金を積み立てています。
- ▶ 平成26年度から、この基金を活用して「みやの環境創造提案・実践事業」を開始してまいりました。
- ▶ これまで各団体の自由な発想で課題に取り組んでもらうため、「自由提案」のみでしたが、平成28年度からは、平成28年3月に策定した第3次環境基本計画の策定関係課の施策事業などからテーマを抽出し、そのテーマから募集をする「選択提案」を新たに設定しました。
- ▶ 令和2年度は、前年度から継続して活動を行った2団体と、新たに応募のあった2団体、計4団体に対して活動支援を行いました。“宇都宮の環境をもっと良くしたい”と思う学生の皆さんの活動内容をまとめましたので、ぜひご覧ください。

各活動内容のテーマの上段に示しているのは、「第3次宇都宮市環境基本計画」に掲げた施策体系における5つの分野です。

→ ①地域環境 ②廃棄物 ③自然環境 ④生活環境 ⑤人づくり

《自由提案》

みやのSDGsMAP

宇都宮大学建築環境研究室

宇都宮市のSDGsの特性に着目したSDGsマップを製作し、それを活用したワークショップ等を開催することで、SDGsの理解促進を図る。

主な活動内容

- ① SDGs特性の調査（大谷・森林公園エリア）
- ② SDGsマップの作成
- ③ ワークショップの実施



大谷・森林公園エリアのSDGsマップ

◆活動の成果や感想

- ・大谷・森林公園エリアにおけるSDGsにつながる施設や取り組みの可視化を行った。
- ・SDGsに関連する施設や活動をプロットし、ワークショップを実施したことで、昨年度の活動では見えてこなかった課題が見えてきた。
- ・今後は地域ごとに必要な項目を整理していく必要がある。



SDGsマップのイメージ



大谷公園



ワークショップ様子

《地域特性を踏まえた生物多様性保全の充実について》

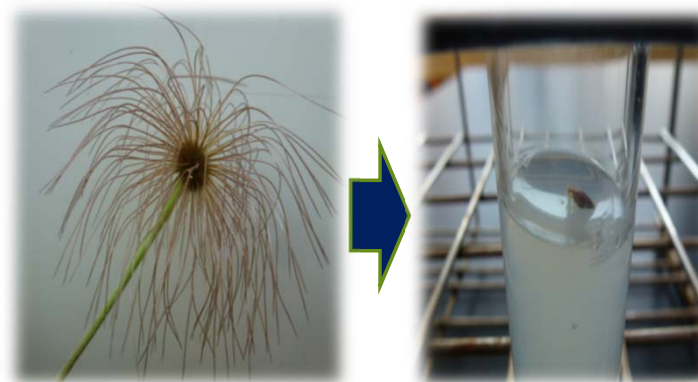
鬼怒川河川敷における生物多様性の保全活動

宇都宮白楊高等学校生物工学部

宇都宮市上小倉地区で激減した絶滅危惧種のオキナグサを増殖させ、鬼怒川河川敷の生物多様性の保全活動を行う。

主な活動内容

- ① 絶滅危惧種であるオキナグサの無菌播種・組織培養による大量増殖を実施
- ② カワラノギクの保全区を絶滅危惧種の保全区としての発展を図る



オキナグサの無菌播種



カルス培養



組織培養による大量増殖

◆活動の成果や感想

- ・オキナグサの組織培養において、殺菌処理・カルス化・多芽体までの方法を明らかにすることができた。
- ・ミヤコグサとカワラノギクの保全活動を継続しつつ、来年度は順化したオキナグサを保全区に定植する予定であり、生物多様性の保全に向けて、少しずつ前進している。



保全区での作業の様子

《地域特性を踏まえた生物多様性の充実について》

宇都宮市の戸祭山緑地に生息するトウキョウサンショウウオを守るために～トウキョウサンショウウオにとってより良い環境とは～ 宇都宮北高等学校科学研究部

宇都宮市の戸祭山緑地で希少生物であるトウキョウサンショウウオの保全のため、アメリカザリガニの駆除を目的とした研究を実施する。

主な活動内容

- ① 栃木県宇都宮市の戸祭山緑地（約26ha）に生息しているトウキョウサンショウウオを保護するための活動
- ② 大田原市滝岡に生息しているミヤコタナゴを保護するための活動



羽田ミヤコタナゴ保存会の皆様と

◆活動の成果や感想

- ・今年度は、宇都宮市の戸祭山緑地で市民参加型のイベントを企画していたが、コロナ禍のため中止せざるを得なかった。
- ・「宇都宮市の戸祭山緑地に生息している希少生物であるトウキョウサンショウウオを守るために、私たちは、どのように里地・里山と関わっていけば良いのか」という課題に取り組んでいる。ミヤコタナゴ保護地復元の活動に取り組む中で、その課題解決の方法を探求していきたい。



現地調査の様子



出水管の計測の様子



ミヤコタナゴの産卵管の長さ
と体長を測っているところ

《自由提案》

食品ロスを軽減するための伝統保存食の作成と農作物の有効利用

宇都宮文星短期大学 栄養士ユニット湯澤ゼミ

農作物や山菜など身近な食材の調理加工保存技術を学び、災害や社会環境の変化に備えるとともに、その生産工程に携わることにより、食品や物への感謝の気持を育む。

主な活動内容

- ① 農作物（山菜を含む）の収穫と調理、加工、保存、実食
- ② 鶏の産卵、孵化、生育を通じた養鶏業の学習



ニラを結束機にかける様子

◆活動の成果や感想

- ・郷土料理を実際の一からつくり、どのように作られているのかを知ることができ、とても貴重な体験をすることができた。
- ・今後も様々な食材の理解を深めて行きたいと思った。
- ・日本の伝統的な保存食の文化を大切にしたいと思うことができた。



孵化翌日のひよこ



孵化から三週間後



ニラのいたみ等をチェック



お問い合わせ

宇都宮市 環境部 環境政策課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2418

FAX 028-632-3316